

学校点描+

プラス

PTA総会への参加ありがとうございます。
校門前の桜並木が満開で保護者の方を出迎えてくれました。

《K中学校》

NO.2

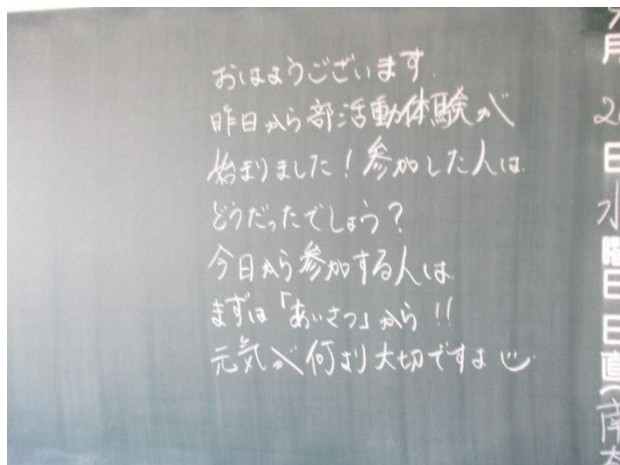
R4. 4. 25

担当：校長

新型コロナ感染状況も踏まえて、4月24日（日）のPTA総会の日に予定していた授業参観を昨年度同様に1学年のみとしました。その代わり、21日（木）と22日（金）そして24日（日）の午前中に2、3年生の保護者向けの学校参観を企画しました。平日や休日のわずかな時間に、30名弱の2、3年生の保護者の方が来校してくれました。日にちを変えて複数回、学校参観をしてくれた方もいました。平日に来校した方の中には、教室入り口前で、そっと子どもを見守る姿もありました。これも一つのその家庭ならではのコミュニケーションです。わが子を思いやる親の愛情をきっと子どもは感じています。

日常が見えるコミュニケーション

あるコンビニに入りました。最近では現金を持ち歩かなくてもスマホのアプリで支払いができて便利です。ソーシャルディスタンスで、床に貼っている足のマークにしたがって、レジ前に並びます。わたしの前には、すでに母親と小学校入学前の女の子が並んでいます。レジ打ちの店員の方は、10代くらいの女性です。レジの横には、戦火の中で難民になった人々への支援を募る募金箱がありました。同じ地球の上で暮らしていて、普通に買い物ができて、物を手に入れることのありがたさを感じずにはられません。



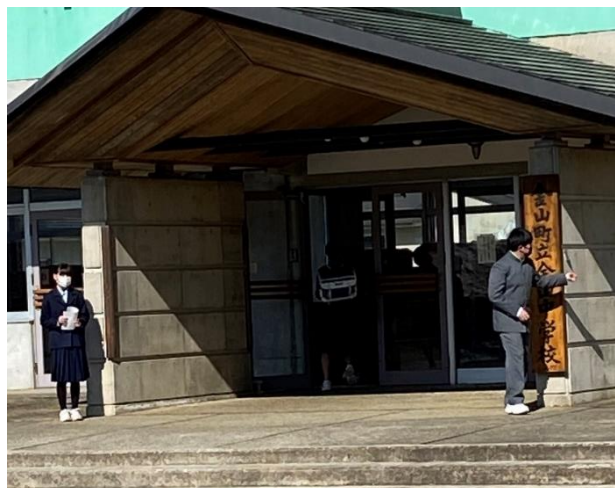
先週の放課後、誰もいない教室棟を歩いていると、1年生の教室からチョークの音が聞こえます。担任の阿部先生が黒板にメッセージを書いています。

「通勤時間が長くて、朝、余裕がないので」阿部先生がわたしの質問に答えます。

直接話す以外に担任の思いをどう伝えるかは、工夫のしどころです。黒板のメッセージもそう、

毎日の日記へのコメントもそう、生徒とのコミュニケーションをどう行うかは、教師個々が試行錯誤しながら考えています。

今週は、朝、校門前に立っていると、生徒の方から挨拶をしてくれることが多かったです。なぜかなと思って、ふと、遠くの昇降口を見ると、生徒会役員の生徒数名が、「おはようございます！」と、玄関前に立っています。2年生のS・Hさんは、朝、車から降りると走って挨拶運動の場所に行き、元気に挨拶運動に加わっています。そ



んな影響があるのかもしれませんが、これまでは、挨拶をしても、なかなか返事をしてくれない生徒たちも、先週はしっかり挨拶で返してくれました。

「挨拶をしなさい」と言うのは簡単ですが、強制的に挨拶をさせようと指導するのは、教育としては、どうも力不足のように感じます。

生徒会の生徒たちの行動の後ろには、K 中の挨拶の現状について疑問を持った先生と生徒達とのコミュニケーションがあったのかもしれませんが。

コミュニケーションによる意思の疎通は、ちょっとした一言や質問を通して、豊かな広がりを見せていきます。

「学校どうだった？」これは、僕が帰宅したときに、毎日母から聞かれることだ。僕はいつも「楽しかった」「面白かった」のどちらかしかその言葉に返していない。

でも、その後に、母は「特にどこらへんが？」と聞いてくる。

それを聞かれると、僕は「友達とたくさんしゃべったから」とか、「いろいろなことをしたから」という紙のように薄っぺらい言葉しか出せない。ふと、疑問がわいてきた。「楽しいって、何だろう？」と。

考えても思い浮かばず、頭の中が雲のようにふわふわとする感じがした。

「楽しい」の中にも、いろいろなことがあるはずだ。でも、僕はそれをあまり考えず、「楽しかった」と言っていた。

その日から僕は、できるだけ考え、薄っぺらい言葉だけでなく、辞書のように厚い、詳しく説明できる言葉で答えられるよう努力した。

結局、本当の楽しさなんて分からなかったけれど、母がああ質問してくれたおかげでいろいろな質問に少しでも答えられるようになった。

だから母には、本当に本当に感謝している。

(山形県村山市立葉山中学校 2年 大田蒼真：2022年4月23日山形新聞朝刊より)

日常の子どもとのコミュニケーションの取り方は、家庭でも工夫していることでしょう。生徒の姿をとおして、家庭でどんな会話を交わしているのかが見えてくることもあります。

レジの前の母と子の後ろに並んで、順番を待ちます。

よく見ると、小さな女の子は、手にお菓子とお小遣いを握りしめてレジに並んでいました。いよいよ自分たち親子の順番になったとき、その女の子は、じっとレジを見て考え込み、レジ横にあった募金箱にお金を入れて、お菓子を棚に戻して母親のもとに戻ってきたのです。

「いいの？」とお母さんが聞きます。

「いいの、今日は我慢する」と言って、母と子は店を出て行きました。

あの母と子の日常のコミュニケーションの一端が見えるようでした。

きりとりせん

ご意見・ご感想をお願いします。